

名古屋市 2 万人会員増強運動 「なごやかクラブ名古屋」～広げよう仲間づくりの輪～⑧

◆『平成 28 年度全老連活動賞』受賞クラブの紹介

老人クラブは、地域の状況に応じた多様な活動に取り組んでいます。全老連の『活動賞』は、これらの活動の中で、特に他の範とするにふさわしい先進的な取り組みを行っている単位クラブまたは連合会に対し授与されます。

今年度は、「片平なごやかクラブ（緑区）」、「笠寺学区老人クラブ連合会（南区）」、「フレンドリークラブ（守山区）」が受賞しました。今回は、「片平なごやかクラブ（緑区）」の取り組みを紹介します。



片平なごやかクラブ（緑区片平学区老人クラブ連合会）は、会員数 345 名、7 クラブで構成されています。

片平なごやかクラブは自治会や子供会等との協働により、地域の環境美化や社会教育活動、災害対策等の地域活動に積極的に取り組んでいます。とりわけ、「花育」と称するさまざまな工夫を凝らした花いっぱい運動に力を注いでおり、地域住民から賞賛の声が寄せられています。



中村 正 会長

当該活動は、単に地域の環境向上に寄与しているだけでなく、児童・生徒とのふれあいを図る世代間交流の格好の場となっており、また、子ども達の豊かな感性を育む効果も生み出しています。

◆花育の取り組み状況

①平成 23 年 4 月新千鳥会の結成を期に、清和会、北浦長寿会、赤塚ことぶき会のシルバーパワーを活用し、学区を挙げて取り組む「地域のコミュニティを育む花・緑の街片平」の運動に協力してこうと「片平なごやかクラブ」が結成されました。

②ところが道路への花植えの許可がおりないため、平成 25 年 12 月、環境省に働きかけ、家庭環境教育および体験機会の場認定事業、コミュニティ支援事業に採択されました。

③平成 26 年 11 月の ESD 活動セミナーに際し、「はじめませんか？ 花育」と題した講座や、地域全体を巻き込んだ「花育」の言葉を情報発信すると共に、種から花を育てていく活動、竹細工作りなどのイベントを開催しました。

※ ESD: Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育
④その後毎年地域全体に活動範囲を広げ、街路柵、プランター、鉢植えなどを利用し、道歩く人達が見えるところに花を植える運動へと発展しました。

◆取り組みの成果

子供会、小学校、中学校と合同で花植え活動を行うことにより、児童・生徒達との交流が深まり、会員のやりがいが高まりました。

中村会長は、「当初は苗の寄付がありましたが、もらえなくなってきたので種から苗を育てています。各クラブ総動員で 9,000 粒の種を蒔き、会員の家で手分けして苗を育てています。今後、子供会、小中学校と連携して、若い人たちの共同作業をメインとして活動を進めていきたい」とお話しされていました。



千種区



東区



北区



中区



昭和区



中川区

老人クラブでは、昭和 31 年より老人週間を契機に地域社会に対する感謝と高齢者の活力を示す全国一斉「社会奉仕の日」に取り組んでいます。
名古屋市長連も市内各所で「花のあるまち」「ゴミのないまち」を目指した美化活動、環境活動に取り組みました。

全国一斉社会奉仕の日
美化活動を市内各所で展開

◆参加クラブ…1,195 クラブ

◆参加会員…16,424 名

◆ごみの総量…10,728 袋 (45 ℓ 袋)

◆清掃箇所…2,560 箇所

